

市立学校 24 校のトイレを改修

児童生徒が健やかに学習・生活できる環境を整備するため、市立学校全 28 校のうち、24 校のトイレを改修する予定です。

【本件のポイント】

- 学校の環境整備に、市立学校全 28 校のうち 24 校のトイレを改修予定
- 令和 4 年度の実施に向け、提出していた国の学校施設環境改善交付金事業の内定を今年度前倒しで受けて実施

【本件の概要】

1 実施校

- (1) 小学校 16 校（上林小学校、井栗小学校、旭小学校、西鱒田小学校、月岡小学校、保内小学校、大島小学校、須頃小学校、栄中央小学校、栄北小学校、大面小学校、長沢小学校、笹岡小学校、大浦小学校、森町小学校、飯田小学校）
- (2) 中学校 7 校（第二中学校、第三中学校、第四中学校、本成寺中学校、大島中学校、栄中学校、下田中学校）
- (3) 義務教育学校 1 校（大崎学園（前期課程））

※ 上記以外の 4 校は、校舎の全面改修時に洋式化等をおおむね実施済

2 改修内容

便器の洋式化、トイレ床の乾式化、小便器の自動水栓化、手洗いの自動水栓化、トイレ照明の自動化（人感センサー）

3 その他

国の学校施設環境改善交付金事業が前倒しで内定されたことを受け、来年度実施する予定だったトイレの改修を今年度実施します。

改修に係る補正予算案を 9 月定例市議会に提出し、議決いただけた場合は、速やかに事業を開始します。